

株式
会社 日刊金属新聞社

発行人 小林恒甫

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話(06)6932-5443 代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話(076)444-6836

購読料 半カ年44,100円(前納) 3カ月22,050円

日刊メタルレポート

住友金属鉱山電気亜鉛
蒸溜亜鉛・原料指定問屋
亜鉛トロス・洋買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

〒555-1 大阪市西淀川区佃四丁目一四番三三
〇〇一 電話(〇六)六四七一・二五三一 代表
〒111-1 東京都墨田区立花二丁目四番五号
〇四二 電話(〇三)二六八・一三五・二番

輸入は電気銅が四〇・五%増

輸出は電気銅、スクラップとも減



橋本健一郎氏

橋本金属 アルミ橋本健一郎氏リポート①

【概況】二月前半、米十二月のPCE(個人消費支出)の上昇、クリスマス商戦の好調を受けて米景気回復期待が台頭、NYダウが一万二、〇〇〇ドルを付けた。中盤にエジプトのデモで緊張感が走るものの、有事の金買いからのつれ高や、中国旧正月明けの上昇期待、更に一月の中国の貿易統計で銅輸入が五六%増(前月比)と急上昇したことから銅需要拡大観測が台頭し、LME銅は一時最高値を更新、一万〇、一四八ドルと好調な前半締めとなった。後半は米住宅着工件数の上昇やFRBのFOMCでの米景気成長率見通しの引き上げから上昇するも、リビア中東情勢の緊迫に伴うOILへの資金流出や原油高に伴う世界景気回復後退懸念から下落、サウジアラビアの増産で落ち着くも、結局三月一日現在で九、八五七ドル(セツルメント)、建値は八五万円のスタートとなった。

【前月の経済指標】

◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比五・九%減の七〇万六、一七〇台であった。

◆日本自動車販売協会連合会によると二月の自動車販売台数(軽除く)は三五%増の二五万二、六三四台。

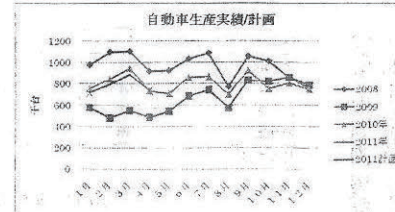
◆二月発表の三カ月自動車生産計画は二四二万二、〇〇〇台(前年比三八%減)であった。

◆自動車生産台数	11月	12月	1月
生産台数	80万2009台	74万1947台	70万6170台
前月比	+6.7%	-6.7%	-5.9%
昨年の前月比	+4.8%	-8.4%	-4.3%

◆自動車販売台数	12月	1月	2月
販売台数	17万9666台	18万7154台	26万2634台
前月比	-11.6%	+4.2%	+35%
昨年の前月比	-14.6%	-4.8%	+23.7%

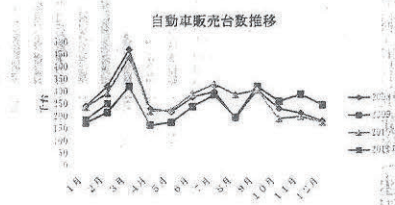
◆計画台数	2月	3月	4月
計画台数	79万4500台	89万台	73万7300台
前月比	+10.6%	+12%	-17.2%

自動車生産台数推移



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

(二面へ続く)

新幹線を支える

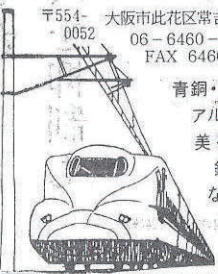
イクリの銅合金インゴット

高品質を追求するイクリの銅合金地金は
鉄道架線金具に使用され、新幹線やJR
各線の安全運転のお役に立っています

株式会社 イクリ

〒554-1 大阪市此花区常吉2-3-53
0052 06-6460-2246 代表
FAX 6460-2355

青銅・リン青銅
アルミ青銅
美術青銅
鉛青銅
など各種



N700系
のぞみ
(時速300km)

原料在庫は薄くなりつつあるか

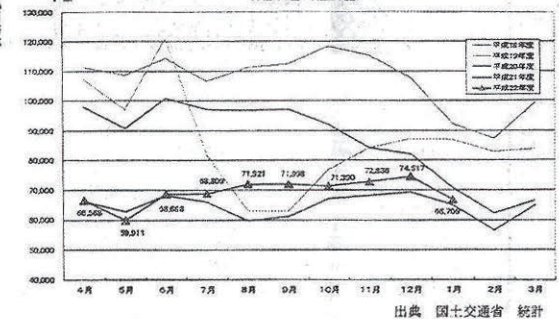
中国バイヤーは購入を抑制も

(二面より続く)

◆国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比一〇・五％減の六万六、七〇九戸であった。

	11月	12月	1月
日本新設住宅着工数	7万2838戸	7万4517戸	6万6709戸
前月比	+2%	+2.3%	-10.5%

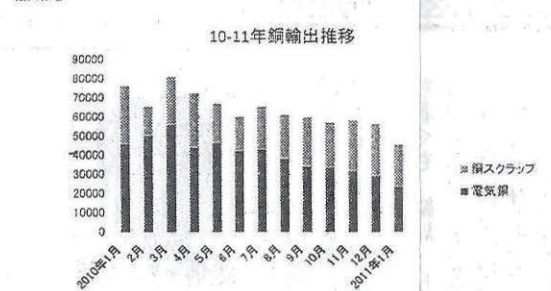
新設住宅着工件数推移



◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が一八・六％減二万三、四〇五t、スクラップが一・八％減の二万、九三三t。

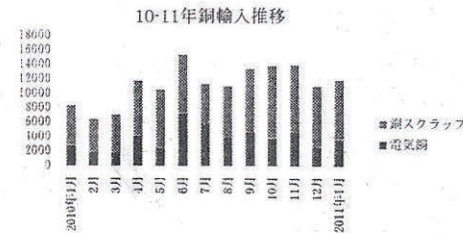
輸出	11月	12月	1月
電気銅	3万1612t	2万8761t	2万3405t
前月比	-5.1%	-9%	-18.6%
スクラップ	2万6494t	2万7362t	2万1931t
前月比	+11.9%	+3.3%	-19.8%



輸入は電気銅が四〇・五％増の三、五六四t。スクラップが二％減の八、三四三t。

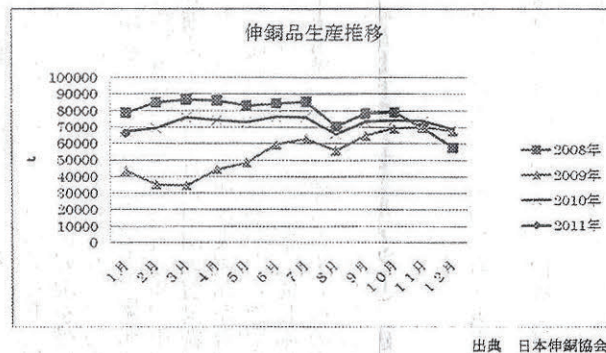
輸入	11月	12月	1月
電気銅	4600t	2537t	3564t
前月比	+22.4%	-44.8%	+40.5%
スクラップ	9354t	8509t	8343t
前月比	-7.5%	-9%	-2%

輸入推移



【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比三・六％減の六万六、三三〇t(昨年の前月比一〇・五％減)。

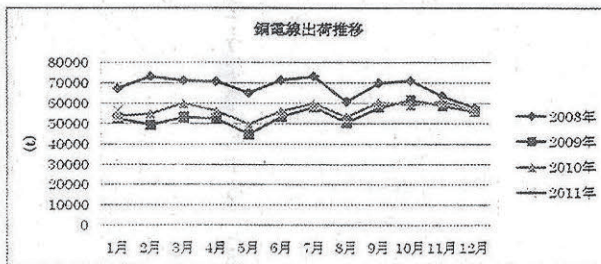


出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)、前月比ほぼ横ばいの五万六、六〇〇tであった(前年同期三・五％減)。(六面に続く)

銅建値八一〇九〇万円程度の予測

(二面より続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】

伸銅品生産は前月比三・六%減、昨年の前月比の〇・五%減から悪化。

自動車生産は前月比五・九%減の七〇万台、昨年の前月比四・三%減からは小幅悪化。

一月の国内自動車販売は、二五万三、〇〇〇台(前月比四〇・一%増)、昨年の前月比二三・七%増から大幅改善。

二月の米 二二万七、〇〇〇人増加

市場予想を上回るADP報告

勇気付けられる兆候だ」と指摘した。

白物家電出荷

一月は一〇・八%増

冷え込みでエアコン伸びる

米民間雇用サービス会社オートマテック・データ・プロセッシング(ADP)が二日発表した二月の全米雇用報告によると、非農業部門の民間就業者数(季節調整済み)は前月比二二万七、〇〇〇人増加となり、市場予想の二二万五、〇〇〇人増(ロイター調査)を上回った。一月の民間就業者数に関しては、当初発表の一八万七、〇〇〇人から一八万九、〇〇〇人に小幅上方修正された。

二月の内訳は、サービス産業が二〇万二、〇〇〇人増と一三カ月連続の増加。また、製造業は一五万五、〇〇〇人増と四カ月連続の増加となった。規模別に見ると、大企業が一万三、〇〇〇人増、中堅企業が一〇万四、〇〇〇人増、小企業が一〇万人増だった。

ADPのバトラー社長兼最高経営責任者(CEO)は「小企業の雇用が一三カ月連続で増加しており、これは雇用市場の面から見て

銅電線出荷量は前月比変わらずと昨年の前月比三・五%減から改善。

新設住宅着工数は前月比一〇・五%減の六万七、〇〇〇戸台。昨年の前月比六・三%増からは大幅悪化。

輸出入に関してはLMEが一万ドルを超える上昇トレンドの中、さらに旧正月もあり中国バイヤーの高値警戒感が台頭し購入を抑制、そして輸出分が国内へ回帰したため輸出減となったが国内発生減や意外に好調な自動車生産を背景に輸入増となった。

銅原料需要に関してメーカーは当用買いの副作用?から在庫は薄くなりつつある。

また米中経済の好調や国内二番底懸念後退を受けて世界需要の増加が見込まれ、各国での新年度入りでの増加観測も。三月十五日開催の中国全人代で格差是正のインフラ・住宅整備も含まれるとの見方から、前月とは一転、中国への輸出も相まって不足気味へ。

銅価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは相変わらずの鉱石不足による供給懸念や、三月の中国全人代での需要増期待があるが、一万ドル突破の達成感や、中東情勢を受けた各国のインフレへの警戒感からの金融引き締め感の台頭で、LMEに関しては下値九、三〇〇ドル、上値一万〇、五〇〇ドル。銅・銅合金スクラップに関しては銅建値で八一〇九〇万程度と予測している。

日本電機工業会(JEEMA)がこの程発表した一月の白物家電の国内出荷額は、前年同月比一〇・八%増の一、四二四億円と八カ月連続のプラスだった。年明け以降の急速な冷え込みを受け、暖房として利用するルームエアコンが伸びた。

内訳は、ルームエアコンが四八・八%増の四〇七億円と八カ月連続のプラス。寒さ対策として電気ストーブや加湿器が好調だったほか、花粉の飛散時期を控えて空気清浄機も伸びた。

一方、政府の家電エコポイント制度が縮小した影響もあり、冷蔵庫は二〇・一%減の一五六億円と八カ月ぶりにマイナスとなった。